

# 環境取組みプラン（2026～2030年度）

グローバル新車CO2排出量を削減させることで低炭素社会へ貢献する

カテゴリー	グループ取組み項目	目標・実施事項
CNチャレンジ 【製品CN】	素材・部品におけるCO2排出削減	*材質と強度区分の集約化による熱処理効率の向上 *非調質鋼活用による熱処理工程の省略 *製品の統一・集約化による生産性の改善
	グローバル新車CO2排出量低減と燃費性能の向上	対象外
	多様化するエネルギー源を活用したモビリティの開発	対象外
	全国各地域の都市大気環境改善に資する排ガス低減	対象外
関連するSDG s		
 7.2 再生可能エネルギーの拡大 7.3 エネルギー効率の改善  9.1 持続可能なイノベーション 9.4 持続可能な技術・産業プロセス  13.1 CO2削減		



活動の方向性は、1)日常改善、2)再エネ、3)技術革新

カテゴリー	グループ取組み項目	目標・実施事項
CNチャレンジ 【生産、非生産、物流、販売会社CN】	CO2排出量削減	*生産・製品と併せて：▲10%('23年比) *取組み項目 ・仕損スクラップ低減による製品直行率の向上 ・浸炭炉の集約化による休止 ・設備の寄せ止め・集約化 ・調質炉・浸炭炉の高効率パイロットバーナーの採用 ・エアコンプレッサーの稼働圧力適正化
	再エネ電力の導入拡大	情報収集
	関連するSDG s	 7.2 再生可能エネルギーの拡大 7.3 エネルギー効率の改善  9.1 持続可能なイノベーション 9.4 持続可能な技術・産業プロセス  13.1 CO2削減




2050年に廃車の資源を新たなクルマの製造資源に活用するCar to Car リサイクルに向け、2030～35年の開発車種へ織込むアイテム開発と後処理システム開発を、ロードマップに従って推進する

カテゴリー	グループ取組み項目	目標・実施事項
CEチャレンジ 【CE】	3R配慮設計の推進	*ボルトなどのReuseのための協力 材質・強度区分・寸法などの統一
	日本で培った廃車適正処理・再資源化技術による国際貢献	対象外
	希少資源、廃車・廃部品の3R技術・システムの開発	対象外
	自動車リサイクル材の採用拡大	*電炉材の採用検討
関連するSDG s		
 9.1 持続可能なイノベーション 9.4 持続可能な技術・産業プロセス  12.2 資源の持続可能な管理・効率的利用 12.4 廃棄物の管理 12.5 廃棄物の削減		





「ネイチャーポジティブ」の実現に貢献するため、地域社会と連携した生物多様性保全と企業活動の両立を図る

カテゴリー	グループ取組み項目	目標・実施事項
NPチャレンジ 【NP】	生態系の健全性の回復を図る活動の推進	*地域特性に応じた活動を推進 *取組み項目 ・構内空地に「ミニオトープ」を設置 ・構内の樹木に「鳥の餌場や巣箱」を設置 ポルツ3拠点で、いずれかを選定し、推進
	生物多様性に関する情報開示	*活動成果をホームページなどで報告
	自然を活用した社会課題解決の推進	*情報収集
	関連するSDG s	 6.6 水に関連する生態系の保護・回復  15.2 森林減少の阻止 15.4 生物多様性を含む山地生態系の保全

環境法令の順守、環境事故や異常の防止のため、環境マネジメントを維持、向上させる風土、しくみづくりを推進する

カテゴリー	グループ取組み項目	目標・実施事項
環境マネジメント 【環境マネジメント】	連結環境マネジメント	*方針、施策、目標の具現化および周知 *内部監査資格者の増員による内部監査の質向上 *グリーン調達ガイドラインの作成、公開
	リスク管理	*該当する法令の明確化・周知
	コミュニケーション	*ダイハツグループグローバル環境連絡会を活用した海外子会社との連携強化 *CN室と連携した積極的な社外情報の取得と社内展開の実施
	教育・啓発	*従業員の環境意識向上の教育 *ダイハツグループ環境系講習会への積極的な参加
	関連するSDG s	 3.9 環境汚染の低減  6.3 有害な化学物質の放出最小化、水質の改善 6.4 水不足の解消  11.6 都市の環境負荷低減  12.4 廃棄物の管理 12.5 廃棄物の削減

今後世界的に規制が厳しくなり、強化が要求される化学物質管理のプレゼンス向上を図り、各国法規を順守する

カテゴリー	グループ取組み項目	目標・実施事項
環境マネジメント 【化学物質管理】	購入・使用する資材、車両部品、補給部品、及び用品の入口での徹底管理	*化審法、労安法、PRTR法、消防法、毒劇法などの対象物質を把握 *SDS（安全データシート）の整備・最新版管理
	化学物質管理業務のプレゼンス向上を狙いに、社員教育や啓発活動を推進	*e-learningを活用した管理意識の向上 受講対象者の明確化、適切なプログラムの提供
	仕入先の化学物質管理の現状を把握し、支援が必要な仕入先に対して支援を行う。	*法規制変更時の取引先への情報発信 *禁止物質含有の有無の定期確認
	関連するSDG s	 3.9 環境汚染の低減  6.3 有害な化学物質の放出最小化、水質の改善 6.4 水不足の解消  11.6 都市の環境負荷低減  12.4 廃棄物の管理 12.5 廃棄物の削減

これまで各方面で継続的に改善活動を推進してきており、今後はその最適な維持管理ステージに移行する  
目標値は、各種項目に対し、大きな変化点がない前提で設定した

カテゴリー	グループ取組み項目	目標・実施事項
環境マネジメント 【環境活動指標】	グローバルで廃棄物排出量の削減・管理（資源の有効活用）	*現行水準の維持 29.89kg/t** **全出荷品の重量当り
	プラスチック廃棄物排出量の削減・再資源化の促進（プラスチック資源循環促進法対応、ダイハツのみで目標値設定）	
	グローバルで取水量の削減・管理（水環境へのインパクトの最小化）	*現行水準の維持 2.63kg/t** **全出荷品の重量当り
	各国の排水基準に対して各社で確実な排水管理（規制値よりも厳しい自主基準値での管理）	*川西工場つき排水中の亜鉛濃度 規制値よりも厳しい自主基準値にて運用
	VOC(ボデー塗装)排出量の削減・管理(大気汚染の防止)	対象外
VOC(バンパー塗装)排出量の削減・管理(大気汚染の防止)	対象外	
関連するSDG s		
 3.9 環境汚染の低減  6.3 有害な化学物質の放出最小化、水質の改善 6.4 水不足の解消  11.6 都市の環境負荷低減  12.4 廃棄物の管理 12.5 廃棄物の削減		